

## 寄贈図書リスト

古代文明に刻まれた宇宙—天文学考古学への招待、  
 ジューリオ マリ著、上田晴彦訳、青土社、四六  
 判、350頁、2,800円＋税  
 星とくらす、田中美保著、WAVE出版、A5変形、160  
 頁、1,600円＋税  
 14歳からの天文学、福江純著、日本評論社、四六判、

240頁、1,500円＋税  
 シリーズ現代の天文学〔第2版〕 人類の住む宇宙、  
 岡村定矩 池内了 海部宣男 佐藤勝彦 永原裕  
 子編、日本評論社、A5判、384頁、2,700円＋税  
 シリーズ現代の天文学〔第2版〕 天体の位置と運動、  
 福島登志夫編、日本評論社、A5判、384頁、  
 2,700円＋税



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、
2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1) 着任時期、(2) 任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、
10. 応募上の注意、
11. その他（待遇など）

### 国立天文台研究教育職員 (ハワイ観測所准教授)

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所  
 (2) 三鷹市（将来、ハワイ勤務があります）
3. 天文学、および関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用観測を推進しています。なかでも、すばる望遠鏡の特徴である広視野を活かしたものとして、超広視野主焦点カメラ（Hyper Suprime-Cam; HSC）による観測を、戦略枠プログラムを含め重点的に進めています。さらに近い将来には、主焦点超広視野分光器（Prime Focus Spectrograph; PFS）を用いた大規模分光観測を開始すべく準備を進めています。そこで今回の公募では、これらの広視野観測からより一層の科学的成果が創出されるよう、国立天文台天文データセンター（ADC）との協力のもと、HSCの解析システムやアーカイブ・システムの長期安定運用をリードするとともに、PFSを含むすばる望遠鏡観測装置のための解析・アーカイブシステムの構築・運用においても中心的な役割を果たす意欲ある准教授を広く求めます。職務および必要な能力の詳細については、下記を参照してください。

https://www.subarutelescope.org/Announce/2017/07/13/j\_index.html#1

5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期  
 (2) なし（定年65歳）
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書、(2) 論文リスト、(3) 研究業績、(4) 計画書（個人で行う研究計画に加え、期待される職務を遂行するにあたっての抱負・方針を具体的に記入してください）、(5) E-mailアドレス、(6) 評価書2通（ただし、評価書は評価者ご本人から直接提出先E-mailアドレスへ提出するよう依頼し、評価者の氏名、連絡先を記載すること）
8. 日本時間2017年8月31日（木）17時必着
9. (1) 応募書類を [apply-hawaii-assoc20170831@nao.ac.jp](mailto:apply-hawaii-assoc20170831@nao.ac.jp) へメール添付で送付  
 (2) 国立天文台ハワイ観測所長 吉田道利  
 Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,  
 Hilo, HI 96720, U.S.A.  
 e-mail: [yoshida@naoj.org](mailto:yoshida@naoj.org)
10. ・すべての応募書類（上記7.の(1)～(5)および(6)）はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。  
 ・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きく

なりすぎないようにすること（メール1通につき10 MB程度まで）。

- 応募書類が受理されると祝休日を除いた3営業日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合には、  
apply-hawaii-assoc20170831@nao.ac.jpへお問い合わせください。
11. 選考は国立天文台運営会議で行います。
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは  
<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

## 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 准教授

### 1. 准教授1名

- (1) 宇宙科学研究所・宇宙物理学研究系  
(2) 相模原キャンパス（相模原市）
3. 宇宙物理学（X線天文学）

4. JAXA 宇宙科学研究所では、2020年度打上げを目標にX線天文衛星代替機の開発を進めています。X線天文衛星代替機では、ASTRO-H衛星で果たせなかった精密X線分光による観測を遂行することが必須ですが、精密X線分光による研究を進めるためには背景にある素過程の物理を理解すると同時に精密X線分光を生かす研究に対する洞察力も必要です。そこで、宇宙科学研究所において、X線天文衛星代替機の研究面を牽引する准教授を公募します。当該准教授には、特に、国際的にも当該研究分野での理学研究を進めるうえでの積極的な役割を果たすことが期待されます。

職務内容としては、X線天文衛星代替機打ち上げ前の期間は、これによる科学成果の創出に向けての準備となる研究を進めること、打ち上げ後は、精密X線分光を手段とする研究で世界をリードし、将来のAthena衛星へとつながるロードマップにおいて日本や宇宙研のビジビリティを高める役割を担うものとなります。

このため、以下のような条件を有する人材を求めます。

- (1) X線分光観測、特に精密X線分光観測による優れた研究業績をもち、招待講演を行うなど国際的にも高い学術評価を得ていること

- (2) X線天文衛星代替機（ASTRO-H後継機）やAthena衛星に期待される次世代の精密X線分光観測を用いた研究を牽引し、そこからX線天文学の新しい可能性を開拓する強い意欲と能力を有すること

- (3) 宇宙研が今後進める関連分野のプロジェクトの国際調整に貢献できること
  - (4) 海外での高い研究実績、または海外機関・研究グループとの密な共同研究の高い実績を有すること。
  - (5) 大学院学生の教育・指導を実施するだけの能力を有すること
5. (1) 決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります、(2) 任期なし。63歳定年制。

6. 博士号を有すること

7. (1) 履歴書
- (2) 研究歴
- (3) これまでの研究概要
- (4) 論文リスト
- (5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む）
- (6) 外部研究資金獲得実績（外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること）
- (7) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属、連絡先（電話番号、電子メールアドレス）
- (8) 主要論文の別刷5編以内（査読付き学術誌に掲載されたものに限る）

8. 2017年9月29日（金）9時30分（日本時間）必着

9. (1) <https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1500012873>（公募発出に合わせてアクセス可能）

(2) 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所  
宇宙物理学研究系主幹 山田亨  
電話：050-3362-2463  
e-mail: yamada.toru@jaxa.jp

10. 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。

なお、本公募は3名以上の応募により成立し、2名以下の応募の場合は再公募します。

また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。

宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 平成30年度国立天文台フェロー (年俸制職員 特任助教)

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていた制度です。平成26年度は3名、平成27年度は1名、平成28年度と29年度は4名ずつを採用しています。

1. 年俸制職員 特任助教 若干名
2. (1) 受入教員の所属するプロジェクト、センター、研究部  
(2) 国立天文台の三鷹、水沢、野辺山、ハワイ、チリのいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に義務的勤務はなく、研究や開発に専念していただきます。
5. (1) 平成30年4月1日以降、ただし平成30年9月30日までに着任していただきます。  
(2) 原則として着任日より5年間ですが、年度ごとに業績評価を受けていただくことになりません。契約期間満了後の更新はありません。
6. 博士の学位を取得した者または平成30年3月31日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト(通し番号を付けたうえで、(i) Corresponding Authorとなっている査読論文、(ii) その他の査読論文、(iii) 査読なし論文、を分けて記載する。共著論文の場合は著者名をすべて明記すること)、(4) 主要論文3編のPDFファイル、(5) 研究計画書(受入教員を明記のこと)、(6) 応募者に対する評価書1通。
8. 平成29年9月15日(金) 正午(日本標準時)(応募フォームでの応募書類と評価書の投稿)
9. (1) 下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行うこと。  
<https://application.nao.ac.jp/2018/>  
評価書は、応募フォームにある説明に従い、評価者がアップロードすること。  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台研究連携主幹 郷田直輝  
Tel: 0422-34-3616  
e-mail: appl-fellow2018@nao.ac.jp
10. 応募上の注意: 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合は [appl-fellow2018@nao.ac.jp](mailto:appl-fellow2018@nao.ac.jp) へ問い合わせること。

11. 採用審査: 書類および面接により候補者を選考し、本年11月初旬(予定)に開催される運営会議の議を経て特任助教として採用を決定します。なお、面接は本年10月24日(火)(日本標準時)を予定しており、面接対象者には事前に連絡します。

身分・待遇:

- ・裁量労働制の常勤職員として月額給与55万円のほか、通勤手当(上限55,000円/月)が支給されます。また、年あたり100万円の研究費が配分されます。
- ・文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・着任に必要なと認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます。
- ・科学研究費助成事業への応募資格があります。
- ・米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒロ市)に着任する場合、またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンチャゴ市)に着任する場合は、手当が支給されます。
- ・ハワイ観測所に着任する場合は、ハワイ大学研究公社(RCUH)による雇用となります。給与・手当は、1ドル=100円の固定換算レートで、米ドルにて支給されます。

その他: 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

## 賞の推薦

### 2017年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2017年11月10日(金)(必着)です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究

報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は再度推薦していただくことを奨励します。

## 2017年度(第22回)林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象：広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初においてすでに本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数：原則として各年に1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式：表題は「2017年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について：氏名(ふりがな)、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先(電話、Fax、e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡先(電話、Fax、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

## 2017年度(第22回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ)に投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

対象論文：原則として過去5年以内にPublications of the Astronomical Society of Japanに出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての共著者)に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式：表題は「2017年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職・連絡先(電話、Fax、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjimuj@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

## 2017年度研究奨励賞(第29回)候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日にすでに正会員であってかつ35才以下の者

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2017年11月6日(月) 必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題(英語表記も)、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2-3枚程度の本文)、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募してください

い。e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject「2017研究奨励賞応募 氏名」としてお送りください。また、提出書類は一つのPDFにまとめて、ファイル名を「2017kenkyushorei full name」としてください。

郵便で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

へ送付してください。

## 2017年度(第17回)天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者とします。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、功績名(1行程度)、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・e-mail: jimu@asj.or.jp)にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2017年12月18日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしく願います。

## 2017年度宇宙科学奨励賞公募

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を上げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2017年度の第10回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下のとおりです。皆

様の周りで優れた業績を上げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存じの際には、是非ともご推挙いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨: 宇宙理学(地上観測を除く)分野および宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関: 公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者: 上記分野で優れた業績を上げた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査: 業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容: 授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする(ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある)。受賞者には本賞(賞状と表彰楯)および副賞(賞金30万円)が贈られる。

推薦締切日: 2017年10月31日(火) 必着。

表彰式: 選考結果は2018年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2018年3月に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をしていただく。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載のうえ、(1)候補者の略歴、(2)論文リスト、および(3)推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付のうえ、電子メールにてご提出ください。

お問合せ先および推薦書送付先:

〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1

公益財団法人宇宙科学振興会 事務局

e-mail: admin@spss.or.jp

## 編集委員会より

### 天文月報表紙デザイン案大募集!

2018年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。

表紙は、題字(『天文月報』の文字)、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例

は、今年または過去の天文月報をご覧ください。(天文月報のホームページのバックナンバー (<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>) に表紙画像があります。)

応募される方は、天文月報投稿用アップローダーを使用し、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ(182ミリ×257ミリ)です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。(12万円/一年分)

締切り: 2017年9月末日

送り先: 天文月報編集委員会

天文月報投稿用アップローダーまで

## 天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

### ■ログイン法

login: geppou    passwd: toukou

### ■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

ファイルの合計サイズが50 MBを超える場合や、ファ

イル数が20点を超える場合は、複数回に分けてアップロードしてください。

### ■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までメールでご投稿ください。

### ■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は [youtsumi@hiroshima-u.ac.jp](mailto:youtsumi@hiroshima-u.ac.jp) まで、

またその他のご質問は [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) までお願いします。

(天文月報編集長)

## 訃 報

会員の水間嘉典氏は2017年7月2日にご逝去されました。満88歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

### ※パスワードが変わりました! ※

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol110**(6文字)の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕(委員長), 上野悟, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 萩原喜昭, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也

平成29年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)